

させほ夢大学

発行●公益社団法人 させほ夢大学
編集委員会
事務局／〒857-0863
長崎県佐世保市三浦町4-30・松蔵ビル3F
TEL.0956-25-9555 FAX.0956-25-9545
http://www.yumedai.com/
E-mail:sasebo_yumedai@yahoo.co.jp

開催ご案内 25-9556

夢のつづき

させほ夢大学会報

今回の講演時間は80分間です。入場証に表記している終了時間は誤りです。
正しくは**15:50及び19:50終了**となります。訂正して御詫びいたします。

No.307 <2021・9>

令和3年度
第6回

2021年 **9月16日(木)**

アルカスSASEBO 大ホール

1部 開場 13:30
講演 14:30 (終了15:50)
2部 開場 17:30
講演 18:30 (終了19:50)

今回の講師 百田尚樹さんは、小説家、放送作家と2つの肩書を持ち、多くの作品が映画化され「海賊と呼ばれた男」では、2013年の本屋大賞を受賞されたことは皆様も記憶に残っておられると思います。

百田さんは同志社大学在学中より朝日放送の人気恋愛バラエティ「ラブアタック」に出演し、世間の注目を浴びられました。在学6年目で大学を中退した後は、放送作家への道を進まれ、「探偵ナイトスクープ」「大発見!恐怖の法則」（共に朝日放送）などの番組構成を手掛けられました。

1986年30歳を目前にして小説家を志し、映画化された小説は、「海賊と呼ばれた男」「永遠の0」「ボックス!」「モンスター」等があ



り、幅広い層が小説家・百田尚樹さんを認知されました。お子様の誕生を機に2019年小説家引退を宣言、放送作家となった後もテレビ出演され、「たかじんのそこまで言って委員会」では生来の歯に衣着せぬ発言をし、「怒れるオッサン大賞」を受賞し多くの分野で豊富な話題提供をされ、マスコミからも注目されました。さらに、2013年11月から2015年2月までNHK経営委員も務められました。

今回、「これからの日本に必要なもの…」というテーマで講演されますが、コロナ禍終息がいまだ見えぬ昨今、どのような話題を提供されるのか、大変、興味深い講演会になりそうです。

ひやくた なおき
講師 ● 放送作家・小説家 **百田 尚樹氏**

テーマ ● **これからの日本に必要なもの** — 小説家百田尚樹の視点



次回のご案内

- と き／10月21日(木) (1部) 14:30～15:50 (2部) 18:30～19:50
- 講師／作家・演出家 **鴻上 尚史氏**
- テーマ／表現とコミュニケーションのレッスン

●1958年愛媛県出身。早稲田大学法学部卒。1981年に劇団「第三舞台」を結成。以降、作・演出を手掛ける。「朝日のような夕日をつれて」で紀伊国屋演劇賞、「天使は瞳を閉じて」でゴールデンアロー賞、「スナフキンの手紙」で岸田國士戯曲賞、2010年には「グループ・ジャングル」で読売文学賞戯曲・シナリオ賞を受賞。舞台公演の他にも、映画監督、小説家、エッセイストなどとして幅広く活動。近著に「同調圧力」、「鴻上尚史のほがらか人生相談 息苦しい「世間」を楽に生きる処方箋」、「「空気」を読んでも従わない」、「コミュニケーションのレッスン」など。

講演会は1日2回開催です。詳しくは裏面のお知らせを必ずお読みください。

百田 尚樹 氏のプロフィール

●1956年大阪市出身。同志社大学中退。関西の人気番組「探偵!ナイトスクープ」(朝日放送)のチーフ構成作家を30年にわたって務める。2006年、特攻隊のゼロ戦乗りを描いた『永遠の0(ゼロ)』(太田出版)で小説家デビュー。『海賊とよばれた男』は全国の書店員が選んだ一番売りたい本「2013年本屋大賞」を獲得。ダウンゴで「百田尚樹チャンネル」を始め、月に3～4回、生放送で2時間放送。加えて、月に4回ブログを配信中。主な近著として、「錨をあげよ」「日本国紀」「カエルの楽園」「日本国紀の天皇論」などがある。





させぼ夢大学講演会
古事記から学ぶ日本の未来 講師/竹田恒泰氏



竹田恒泰氏



日本人としての誇り

佐世保市瀬戸越二丁目 鷺見 邦子

今回は政治評論家、作家の竹田恒泰さん。テレビの中の軽快な語り口に加え、時にユーモアも交えての講演に最初から引き込まれて聴き入りました。

「古事記」から学ぶ日本の歴史を分かり易く解説して頂き、現在(いま)に脈絡と受け継がれている事象に感嘆を覚えました。世界的恐怖に晒されているコロナ禍の今、古(いにしえ)の昔から何度となく疫病に悩まされ、その都度、日本民族の英知と習わしを重んじての催事や厄払い、例えば、伊勢神宮の建立、京都祇園祭、平安京遷都等…。



■いつもテレビで拝見する通りの、まさに博識、愛国、信念の人でした。これまで私にとって、ややもすれば荒唐無稽な昔話と敬遠してきた古事記が、竹田先生の講演で、日本が誇る民族最古の文化遺産として、突然目の前に現れました。

佐世保市光月町●國松 仁志

■竹田氏の古事記は興味深く、高校の眠い古典の授業で恩師が恋をすると面白くなり、命短し恋せよ乙女〜と、歌ってらした姿が浮かびます。私も読み返そうと思います。人の世は幾年繰り返し心の程を〜、見つめ直してみます。

佐世保市比良町●岡井 眞紀

■日本人はすべて家族だ!!古事記から学んでもよいが、今の社会から学べ。争いはなくなるよ!!

佐世保市権常寺町●田中 和之

■わかりやすい言葉で、難しい古事記を、面白おかしく話され、あまり読んだことのない古事記に興味をひかれ、読んでみたいと思いました。日本人の潔癖さ、生活様式が日本人は優れていること、このコロナ感染時にオリンピック開催の意義など、考えさせられました。

佐世保市大宮町●田中 美祐

■11月のさだまさしさんの講演会、楽しみです。もし適うなら「道化師のソネット」を歌ってもらったら、有り難いです。コロナでみんなが苦労している中、勇気をもらえる歌のような気がします。

平戸市田平町●大内 和子

■マッカーサーと昭和天皇の遣り取りの本当のことを知りました。

佐世保市日宇町●山川勇造・俊子

■日本は一つの家族ということは、昔からあったことを知りました。テレビとは違う竹田氏の一面を見ました。

佐世保市椎木町●山口 清志

■明治天皇の玄孫とのこと。流石に素敵な方だと、お会いできて嬉しい。古事記の勉強をした若かった頃の我が身、尋常小学校のことなど、懐かしく想いだしながら。

佐世保市早苗町●牧 多津江

■建国の礎を伝える古事記を少しは理解できたのではないかと思います。日本人は家族。「苦しい時こそ協力」が建国の主旨。血縁体系の中心に天皇がおり、心縁で繋がる。分断ではなく一体感等々、日本の原点を学ぶ機会を得たので、一度立ち止まって、どこへ行くのか見定める必要性を新たにしました。

佐世保市早苗町●牧 千尋

そして、戦後日本の復興に当たり、日本人の真髄を理解し、尽力されたマッカーサー元帥の人間力にも深く感銘しました。

今ある日々の幸せに改めて感謝すると共に、日本人としての誇りを感じています。このコロナ禍が終息した時には、世の中の常識にどんな変化をもたらすのか…?と思うと、少しずつ前向きになれる気さえします。竹田先生、楽しい講演をありがとうございました。

夢大学スタッフ皆様へいつもお世話頂きありがとうございます。平時にもましてコロナ禍の昨年、今年も、なお一層の御心労のことと感謝致します。

残暑の候 皆様のますますの御活躍を祈っております。

日本最古の卑弥呼に学ぶ

東彼杵郡波佐見町 田添 穂澄

紀元前700年の疫病を鎮めるために始まった格闘劇が、ギリシャに始まったのがオリンピックの起源。その後1300年続いた点を、リアルな話に始まり、その後600年余り途絶えたものの、世界的な疫病の蔓延を期に1900年代より近代オリンピックが再開した流れを解りやすく説明された。

また、日本古事記を紐解いて、日本の凄さを歴史的観点から神武天皇七代先祖と称される『伊弉諾尊がめとった伊

邪那美命』の二神、日本の神の起源は天照大御神の家族愛が、連綿と日本人の遺伝子として現代の我々に受け継がれていることに感銘を受けた。

さらに、お話のように日本の歴史を見ても、長篠の戦い、関ヶ原の戦いと日本を二分する戦陣同士の大きな戦いはあっても、日本人同士の間人の戦いは日本にはなかった。今や、世界が第二の冷戦の様相。自国の主張を呈して、なりふり構わず台頭して来る国等ある中、混沌とした現代の中、わが日本は毅然とした神の精神を貫いていきたいと思います。

そして、最後に日本の神々をリポート収録された映像には迫力の中に、国民を幸せに

古事記に学ぶ日本人の心

するとうい思いが、天皇の理念として連綿と日本人の心の中に受け継がれていると結ばれ、最後まで熱弁を振るわれ、閉幕に拍手の音が止まらなかった。

日本人である意味

佐世保市瀬戸越二丁目 古富 笑子

古事記から学ぶ日本の未来！これを見ただけで、今月の話は私ぐらいの頭では、難しいのだからと思いつきながら出かけた。拍手と共にお願いしますの竹田先生は、やはり血は争えないと品のある御姿でした。

開口一番、漫画の世界に引き込まれた様分りやすく笑いの話、どうして日本が出来ていったのか？が良く分り、納得のいく話に引き込まれました。

皇室を中心とした国、日本がなぜ世界中で一番と言われる国に出来上がっていったのか、天皇の御苦労がしみじみと分かりました。私の父は昭和20年7月28日にビルマの沖で潜水艦と共に戦死しました。終戦後、石こうが入った白木の箱が帰って来た時の母の言葉は、敗戦を知らずに死んだお父さんはよかったね、でした。子供ながらに何か違和感を持ったのを覚えていますが、今夜の話で父も母も日本人だった意味が77年振りに

講演を聴かれた感想をお待ちしています！

※締め切りは講演日の1週間後(必着)
※宛先は、させほ夢大学事務局まで

分り、最後は涙が止まりませんでした。

私達姉弟90歳を頭に5人皆元気です。コロナで今は集まれません。また集まって父が出ていた轟沈の映画の唄をいつもの様に皆で唄い、竹田先生の話で花を咲かせたいと思っています。

お暑い中、ありがとうございます。

助け合って生きる遺伝子

佐世保市大和町 新北 博美

背筋をピンと伸ばし壇上の国旗に一礼をして立たれた竹田氏。とてもスリムでユーモアを交えながらも、熱く信念のこもった講演でした。

日本という国はなぜ独立しようという動きが無く一つの国のままなのかと問われ、日本は島国でありその中から分離独立して違う国ができるなんて、考えた事ありません



日本人の素晴らしさ

佐世保市東山町 中溝 悦美

毎回、古賀理事長の話が面白い。オリンピック開催でコロナの影響が先立ち、心配しながらもいつの間にか、テレビの前で応援している自分がいる。また、スケボーがオリンピックの競技になっていくと知らなかった事、今では四ヶ町でのスケート・ボーターに激励の声をかけている。全く自分も同じであるとニンマリ。

さて、今回の講師竹田恒泰さん、テレビではいつも拝見するものの、初めてお会いできるのを楽しみにしていました。古事記か！えっと高校時代に習ったことはあるが、日本最古の書であるぐらいしか覚えていない。急ぎ講演の2日前にビギナーズ、クラシックス日本の古典を買って求めバタと読み始めました。当然、講演には間に合わず当日になり、聞く耳全開でお話を聞くことになりました。神話の本質とは何か、それを知ることがは民族を知ることにつながる。

歴代の天皇の話も、ご先祖の事とは言葉、淀みなく分りやすく話される姿は感動的でした。3世紀頃まで約163国の豪族があったのを、4世紀にかけて戦わずして統合するまでになった。それは何故か、ここが肝心な所。あらゆる手で天皇と血縁関係をもち、日本中を家族にしてし

国歌「君が代」は聴くだけではなく



歌うものですよ！

まう。自分の20代前からすると100万人の中に自分がいることになる。①血縁②心縁③地縁つまり尊い縁になるのであると語られた。

紀元前776年にギリシャで始まるオリンピック、お互い争うのではなく、運動会をせよとお告げにより、世界の近くの国にも呼びかけが広まったという。古い歴史には感心するしかありません。最後に8月と言えば広島、長崎の原爆の話。長崎が最後の被爆地であって欲しいと切に願う一人です。

時を同じくして、テレビ番組ではマッカーサーと天皇の会談の話があり、戦後アメリカの占領の政策が平和的に進められたのは、天皇の誠実な協力と影響に負うところが極めて大きかったと述べています。日本人の素晴らしさを再確認した次第です。最後まで古事記を読んでいます。

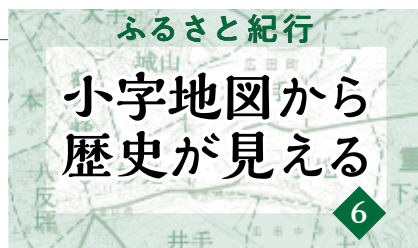
大切なお知らせ

- 9月16日の講演会は、新型コロナ感染による3密を避けるために、**1日2回講演**にて実施します。
第1回目講演は14時30分から、第2回目講演は18時30分からです。
- 1回目講演と2回目講演の振り分けは、**7月末に発送している「入場証(9月分)」に記載**しています。
- 各講演の時刻表等を記載した入場証に、必要事項をご記入の上、学生証と共にご持参ください。
- ご入場の際は、手指消毒・検温をしますが、体調の悪い方は入場をご遠慮ください。
- できるだけ不織布マスクを着用し、会話は控えてください。
- ホールの客席は一席ずつ空けてお座りください。また、席取りはご遠慮ください。
- 1回目と2回目の入れ替え時には、ホール座席等の消毒及び清掃をしています。
- 学生ご本人が欠席で代理出席の場合も、必ず、学生証と入場証をご持参ください。もし、両方ともない場合は、万が一、感染者が発生した場合、補足追跡ができませんので、入場をお断りすることになります。
- 携帯電話等の各種電子機器は、電源を確実にお切りください。
- アルカスSASEBO大ホールの空調は、部分的な調整ができません。できる限りの対応をしていますが、フロア及び座席の位置によってはかなりの温度差があります。十分な準備をされた上でご出席ください。

※新型コロナウイルスの感染拡大状況や講師の都合、天災その他不測の事態により、開催日時の変更や延期、または講師を変更して代替開催する場合があります。



後藤惟明の城のあった小字「御前畑(ゴゼバタケ)」
天神公園の付近に「御前畑」の小字地名がある。御前畑の畑という意味であろうか興味深い。御前と呼ばれた人は誰だったのだろうか。
この地に後藤惟明(これあきら)というお殿様がいたという。
後藤惟明とはどんな人物であろうか。戦国時代、ここ西



天神の小字「御前畑」

佐世保史談会副会長
宮崎 勝秀

九州でも領土の奪い合いが行われていた。平戸から佐世保地方へ進出していた平戸松浦と佐世保の奪還をめざす大村。大村を支援し西九州の支配を確立したい有馬などの豪族がいた。一方九州の支配をもくろむ少弐氏や竜造寺氏は周辺を配下に入れ領土を拡大していた。

そんな時代の永禄七年(一五六四)平戸の松浦隆信は次男を武雄の後藤貴明の養子とし、貴明との同盟を結んでいく。後藤惟明と名乗り貴明の後を継ぎ武雄の領主になる予定であった。

しかし、後藤貴明に実子星千代が生まれ大きくなるにつれ、後継問題がこじれる。惟明は、貴明との間に戦となりやむなく平戸に戻る。

それから天正五年(一五七七)隆信の指示で日宇の長峰に城を構える。大村方と戦った天正十四年(一五八四)の井手平城と広田城の合戦では早岐城に出陣し防戦の準備をし、広田城攻めに参戦している。その後、後藤惟明は崎辺に住み、その屋敷があった場所が御前畑と呼ばれるようになり、地名として残っている『ふるさと歴史散歩佐世保』には、秀吉の文禄・慶長の朝鮮出兵の間は、惟明は留守居役として平戸にいたと記されている。

朝鮮の戦が終わりに出陣していた松浦鎮信が無事帰還したので、惟明は御前畑に戻り慶

長六年(一六〇一)六月二五日に亡くなっている。『佐世保発達史』等には「日宇の長峰に城を築き、白岳神社を創建し、晩年日宇村崎辺に退隠し、「大回院殿武雄英運大居士」と刻んだ墓が、崎辺の御前畑にあると伝えてある」と記述してある。

惟明の創建した白岳神社は、山の中腹にあったが、馬から落馬したり、馬のいななきが聞こえたりと怪奇な現象がたびたびあり、日宇村近く川べりに移され「なきさの宮」と呼ばれていた。その後今の白岳神社の位置に移されている。

今は御前畑には惟明の墓はなく、平戸村の稗田に在ると言われる。

今回は大智庵城の小字「城山」について、果たして小字地図から歴史が見えるでしょうか。



前畑城跡(天神公園奥の高台)

講演を聴かれた感想をお待ちしています! 600字程度にまとめて、させば夢大学事務局まで、郵便・FAX・メール等でお送りください。締切日は原則として、講演日の1週間後の木曜日(必着)です。